



2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社クロス・マーケティンググループ 上場取引所 東
コード番号 3675 URL <https://www.cm-group.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長兼CEO (氏名)五十嵐 幹
問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)小野塚 浩二 (TEL)03(6859)2259
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年6月期第3四半期の連結業績(2023年7月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	19,340	△1.6	1,691	△22.2	1,682	△19.6	985	△21.3
2023年6月期第3四半期	19,651	3.0	2,172	△20.5	2,094	△22.0	1,251	△30.8

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 1,079百万円(△14.4%) 2023年6月期第3四半期 1,260百万円(△36.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	51.29	50.96
2023年6月期第3四半期	63.19	62.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	15,090	6,874	45.5
2023年6月期	14,308	6,089	42.0

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 6,872百万円 2023年6月期 6,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2024年6月期	—	6.50	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	—	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	3.6	1,900	△2.6	1,800	△4.2	1,000	△0.7	52.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年6月期3Q	19,970,464株	2023年6月期	19,970,464株
2024年6月期3Q	686,766株	2023年6月期	792,498株
2024年6月期3Q	19,202,949株	2023年6月期3Q	19,794,939株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12
4. その他	13
継続企業の前提に関する重要事象等	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、不安定な国際情勢による地政学リスクの増大や先進国等における景気下振れ懸念、急激な為替レートの変動、資源価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が継続しました。

当社グループの事業領域であるデジタルマーケティング市場及びマーケティングリサーチ市場は、顧客企業によるDX（デジタルトランスフォーメーション）への旺盛な投資を背景に堅調となっており、今後も中期的な成長が予想されます。一方で、消費者の購買行動は多様化が加速しており、これに対応した消費者ニーズ調査手法の革新やプロモーション手段の進化が求められるなど、競争環境の激化が想定されます。

こうした経営環境の下、当社グループは持続的な成長を実現するため、中期経営計画「DX Action 2024」の指針である「マーケティングDXパートナー」の実践へ向けた様々な取り組みを通じて、ビジネスモデルの進化とサービス対応領域の拡大を推進しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は19,340百万円（前年同四半期比1.6%減）、営業利益は1,691百万円（同22.2%減）、経常利益は1,682百万円（同19.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は985百万円（同21.3%減）となりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	増減額 (増減率)
売上高	19,651	19,340	△311 (△1.6%)
営業利益	2,172	1,691	△481 (△22.2%)
経常利益	2,094	1,682	△411 (△19.6%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,251	985	△266 (△21.3%)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(デジタルマーケティング事業)

デジタルマーケティング事業では、国内のグループ各社がデジタル領域に軸足を置き、販促支援メディアの運営、プロモーション・マーケティング支援、システムの受託開発及び保守・運用、人材供給等、DX（デジタルトランスフォーメーション）に関わる総合的なマーケティングソリューションを提供しております。

同事業の外部顧客に対する売上高は7,720百万円（前年同四半期比12.8%増）となりました。1）ITソリューション分野では、システム受託開発及び人材関連が前年同四半期比で小幅ながら減収となったものの、2）メディア・プロモーション分野では受注単価の回復および株式会社トキオ・ゲッツの新規連結効果により前年同四半期比で増収し、同事業全体の成長に寄与しました。

同事業のセグメント利益（営業利益）は564百万円（同26.4%増）となりました。これは主に、販売費及び一般管理費の削減によるものです。

(データマーケティング事業)

データマーケティング事業では、国内外のグループ各社において、マーケティングリサーチにおけるオンライン・オフラインでのデータ収集を中心にサービスを提供しております。

同事業の外部顧客に対する売上高は6,520百万円（前年同四半期比17.3%減）となりました。これは、1）株式会社クロス・マーケティングを中心とする国内事業会社では、不透明な経済情勢の中でもお客様企業のリサーチ需要は底堅く、主力のオンライン調査が前年同四半期比で増収するなど堅調だった一方、2）海外事業を行うKadenceグループにおいて、コロナ禍後に発生していた需要が一巡し、前年同四半期比で大幅な減収となった、等によるものです。

同事業のセグメント利益（営業利益）は1,779百万円（同23.4%減）となりました。その主因は、売上高の減少に伴う売上総利益の減少によるものです。

(インサイト事業)

インサイト事業では、国内外のグループ各社において、各種マーケティングデータの複合的な分析、消費者インサイトの発掘、レポート作成などを通じ、お客様企業のマーケティング戦略における意思決定への支援を行っております。

同事業の外部顧客に対する売上高は5,100百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。これは、1）株式会社クロス・マーケティングを中心とする国内事業会社では、一部医療・ヘルスケア領域が軟調に推移したものの、オフライン調査を中心にリサーチ需要が底堅く増収を確保したことに加え、2）Kadenceグループの海外拠点では、インドネシア等における収益が拡大、等によるものです。

同事業のセグメント利益（営業利益）は727百万円（同14.8%減）となりました。これは主に、売上総利益率の低下によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、資産については、流動資産が11,893百万円（前連結会計年度末比601百万円増）となりました。主な項目としては、現金及び預金6,233百万円、受取手形、売掛金及び契約資産4,270百万円となっております。固定資産は3,198百万円（同181百万円増）となりました。主な項目としては、ソフトウェア631百万円、のれん553百万円、投資有価証券441百万円となっております。その結果、総資産は15,090百万円（同782百万円増）となりました。

(負債)

負債については、流動負債が5,561百万円（前連結会計年度末比413百万円増）となりました。主な項目としては、買掛金1,607百万円、1年内返済予定の長期借入金940百万円、短期借入金409百万円となっております。固定負債は2,656百万円（同416百万円減）となりました。主な項目としては、長期借入金2,305百万円となっております。その結果、負債は8,217百万円（同3百万円減）となりました。

(純資産)

純資産は6,874百万円（前連結会計年度末比785百万円増）となりました。主な項目としては、利益剰余金が6,065百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、2024年2月13日に公表しました連結業績予想から変更はなく、売上高260億円（前期比3.6%増）、営業利益19億円（同2.6%減）、経常利益18億円（同4.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益10億円（同0.7%減）としております。

当社の業績予想は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、季節要因等を反映して作成しております。今後、業績予想に修正が見込まれる場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(デジタルマーケティング事業)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社である株式会社エクスクリエ(旧:株式会社ドウ・ハウス)は、スキップ株式会社を吸収合併しており、スキップ株式会社は連結の範囲から除外しております。

当第3四半期連結会計期間において、新たに株式を取得したことにより株式会社トラフィックスを連結子会社としております。また、連結子会社である株式会社エクスクリエ(旧:株式会社ドウ・ハウス)は、株式会社ディーアンドエムを吸収合併しており、株式会社ディーアンドエムは連結の範囲から除外しております。

(データマーケティング事業)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社である株式会社ウィズワークは、株式会社Infidexを吸収合併しており、株式会社Infidexは連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,477,820	6,233,239
受取手形、売掛金及び契約資産	3,137,898	4,270,488
仕掛品	714,047	511,550
その他	999,511	914,837
貸倒引当金	△37,149	△37,331
流動資産合計	11,292,126	11,892,783
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	206,764	195,072
工具、器具及び備品（純額）	64,406	64,122
その他（純額）	7,092	5,741
有形固定資産合計	278,262	264,935
無形固定資産		
ソフトウェア	631,508	631,346
のれん	622,633	553,277
その他	207,534	166,060
無形固定資産合計	1,461,675	1,350,684
投資その他の資産		
投資有価証券	323,375	441,299
関係会社株式	73,516	87,088
繰延税金資産	324,650	462,102
その他	554,885	591,592
投資その他の資産合計	1,276,426	1,582,081
固定資産合計	3,016,363	3,197,700
資産合計	14,308,489	15,090,483

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	983,469	1,607,276
短期借入金	393,258	408,728
1年内返済予定の長期借入金	945,801	939,624
未払法人税等	546,368	556,753
賞与引当金	514,234	293,400
その他	1,764,349	1,754,997
流動負債合計	5,147,479	5,560,778
固定負債		
長期借入金	2,758,918	2,304,577
役員退職慰労引当金	105,569	105,569
繰延税金負債	—	1,570
資産除去債務	129,122	130,038
その他	78,629	114,090
固定負債合計	3,072,238	2,655,844
負債合計	8,219,717	8,216,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	646,709	646,709
資本剰余金	569,203	540,079
利益剰余金	5,320,692	6,065,188
自己株式	△482,763	△422,938
株主資本合計	6,053,841	6,829,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,281	31,226
為替換算調整勘定	△54,636	11,997
その他の包括利益累計額合計	△51,355	43,223
新株予約権	1,600	1,600
非支配株主持分	84,686	—
純資産合計	6,088,772	6,873,861
負債純資産合計	14,308,489	15,090,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	19,650,579	19,339,505
売上原価	11,362,807	11,582,366
売上総利益	8,287,772	7,757,139
販売費及び一般管理費	6,115,300	6,066,149
営業利益	2,172,472	1,690,990
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,181	3,728
持分法による投資利益	20,162	13,572
投資有価証券売却益	15,709	—
補助金収入	6,467	22,518
その他	8,621	10,032
営業外収益合計	53,139	49,849
営業外費用		
支払利息	36,333	36,483
為替差損	16,616	4,544
その他	78,902	17,390
営業外費用合計	131,851	58,417
経常利益	2,093,760	1,682,422
特別利益		
持分変動利益	7,612	—
特別利益合計	7,612	—
特別損失		
固定資産除却損	6,847	2,070
特別損失合計	6,847	2,070
税金等調整前四半期純利益	2,094,525	1,680,353
法人税等	828,066	694,857
四半期純利益	1,266,459	985,495
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,540	529
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,250,919	984,967

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	1,266,459	985,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,291	27,945
為替換算調整勘定	△8,284	65,092
その他の包括利益合計	△5,993	93,037
四半期包括利益	1,260,466	1,078,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,244,882	1,079,545
非支配株主に係る四半期包括利益	15,584	△1,013

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 自己株式の取得

当社は、当第3四半期連結累計期間において、2023年5月15日及び同年6月15日開催の取締役会決議に基づき、63,000株の自己株式を取得しました。この結果、自己株式は52,972千円増加しております。

(2) 株式交換による子会社株式の追加取得

当社は、当第3四半期連結累計期間において、連結子会社である株式会社エクスクリエ（旧：株式会社ドゥ・ハウス）の株式を株式交換により追加取得し、自己株式180,732株を交付いたしました。この結果、資本剰余金が29,123千円減少し、自己株式が112,797千円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	デジタルマーケティング事業	データマーケティング事業	インサイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,845,019	7,884,671	4,920,889	19,650,579	—	19,650,579
セグメント間の内部売上高又は振替高	334,943	645,145	24,327	1,004,415	△1,004,415	—
計	7,179,962	8,529,816	4,945,216	20,654,994	△1,004,415	19,650,579
セグメント利益	446,042	2,321,239	853,152	3,620,434	△1,447,961	2,172,472

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,447,961千円は、セグメント間取引消去997千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△1,448,958千円が含まれております。全社費用等は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用等であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、新たに株式を取得したことにより株式会社Infidex及び株式会社MDIUを連結の範囲に含めております。これにより、「デジタルマーケティング事業」ののれんが100,549千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	デジタルマーケティング事業	データマーケティング事業	インサイト事業	合計
一時点で移転される財又はサービス	6,718,993	7,884,671	4,920,889	19,524,553
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	126,026	—	—	126,026
顧客との契約から生じる収益	6,845,019	7,884,671	4,920,889	19,650,579
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,845,019	7,884,671	4,920,889	19,650,579

当第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	デジタルマーケティング事業	データマーケティング事業	インサイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,719,515	6,520,423	5,099,567	19,339,505	—	19,339,505
セグメント間の内部売上高又は振替高	391,009	712,979	67,012	1,171,000	△1,171,000	—
計	8,110,524	7,233,402	5,166,579	20,510,505	△1,171,000	19,339,505
セグメント利益	563,810	1,778,506	726,988	3,069,304	△1,378,314	1,690,990

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,378,314千円は、セグメント間取引消去△5,277千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△1,373,038千円が含まれております。全社費用等は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用等であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、新たに株式を取得したことにより株式会社トラフィックスを連結の範囲に含めております。これにより、「デジタルマーケティング事業」ののれんの金額が65,623千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	デジタルマーケティング事業	データマーケティング事業	インサイト事業	合計
一時点で移転される財又はサービス	7,503,068	6,520,423	5,099,567	19,123,058
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	216,448	—	—	216,448
顧客との契約から生じる収益	7,719,515	6,520,423	5,099,567	19,339,505
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,719,515	6,520,423	5,099,567	19,339,505

(重要な後発事象)

(株式取得による会社等の買収)

当社は、2024年4月4日開催の臨時取締役会において株式会社クリエイティブリソースインスティテュート（以下、「CRI社」という。）の子会社化を目的とした株式譲渡契約を締結することを決議し、同日付でCRI社の全株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業内容

被取得企業の名称	株式会社クリエイティブリソースインスティテュート
事業の内容	ディレクター・エンジニアの派遣事業、ブランディングプランニング、セールスプロモーション、広告制作事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、リサーチによる生活者理解を強みに、マーケティングの実行支援までをワンストップで提供し、お客様の事業を成功に導く「マーケティングDXパートナー」を目指しております。

CRI社は、東京および福岡において、Webディレクターやエンジニア人材を、主に広告代理店、システム開発会社、Web制作会社に常駐させて、プロモーションの企画提案や技術者の派遣を行っております。

本件により、当社グループ企業である、株式会社エクスクリエ（旧：株式会社ドゥ・ハウス）や株式会社オルタナエクス（旧：株式会社Fittio）などのリソースの活用を通じ、顧客支援の最大化と効率化の実現が可能となります。また、グループ内連携、およびCRI社独自のエンジニア育成体制の強化により、エンジニア人材基盤のさらなる拡充につながるものと見込んでおります。さらに、グループ各社の制作部門との連携により、グループ全体の生産性とデザイン力の向上も実現可能と判断しております。

今後は、デジタルマーケティング事業の各グループ会社とのシナジー創出を図り、デジタルマーケティング事業の成長を加速してまいります。

(3) 企業結合日

2024年4月4日（取得日）

2024年4月1日（みなし取得日）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100.00%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価（現金） 1,000,000千円

取得原価 1,000,000千円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等（概算額） 53,600千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定していません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定していません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。